

「GovTech Challenge OKAYAMA 2023」成果報告会 の観覧者を募集します

岡山市が抱える社会課題・行政課題を最先端のテクノロジーや斬新なアイデアを持つスタートアップと協働で解決する事業「GovTech Challenge OKAYAMA(ガヴテック チャレンジ オカヤマ)」の成果報告会開催にあたり、観覧者を募集します。

1 日時

令和6年3月25日(月) 16時～17時30分

2 場所

ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ) (北区駅前町一丁目 イコットニコット2階)

3 内容

今年度、社会実証を実施した5つの行政課題について、協働した担当課とスタートアップによる成果報告会を開催します。各実証実験の内容については、別紙をご参照ください。

16:00開会

実証成果報告
パネルディスカッション
デモ展示・交流会

17:30閉会

4 観覧申込期限及び定員

令和6年3月24日(日)まで

定員 会場30名、オンライン100名

参加費は無料。ももスタのサイト(<https://momosta.com/>)からお申し込みください。

5 岡山市職員を対象とした成果報告会について

岡山市職員を対象とした成果報告会も以下のとおり開催します。報道機関の方もご参加いただけます。

日時:令和6年3月25日(月) 13時～14時30分

場所:岡山市役所本庁舎7階 大会議室

概要:13:00開会

実証実験成果報告
デモ展示
岡山市長挨拶・講評
交流会

14:30閉会

6 その他

※「GovTech Challenge OKAYAMA(ガヴテック チャレンジ オカヤマ)」とは、岡山市が抱える社会課題、行政課題について、最先端のテクノロジーや斬新なアイデアで課題解決に向けた提案を行うスタートアップを公募し、岡山市職員と協働で最適な解決手法を見出し、製品・サービスとして構築・実証までを行う事業です。

※スタートアップとは、「革新的なアイデアや独自性で新たな価値を生み出し、社会にインパクトを与える企業」のことです。

岡山市では、経済成長の担い手になり得るスタートアップの創出と成長のため、スタートアップ支援拠点「ももスタ」の運営や各種の支援を行っています。

【お問い合わせ先】

岡山市 創業支援・雇用推進課 河合・松田 直通086-803-1342 内線4514・4518

GovTech Challenge OKAYAMA（先進技術社会実証支援事業）実証プロジェクト一覧

事業概要

スタートアップと市職員が協働して行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、スタートアップの成長と市の課題解決を目指す取り組み。スタートアップは、市が持つ社会実証フィールドを活用して、自社のプロダクトやサービスの実用性をブラッシュアップして、事業成長を図る。

実証実験一覧

今年度は、5つの実証実験を実施。



**市役所対応にもChatGPT？！
新時代の行政電話AI対応を実現したい！
（課税管理課×株式会社AI Shift）**

税に関するよくある質問・回答をAIに学習させ、電話による質問を音声認識し、ボイスボットが自動解答する問い合わせ対応の検証を行いました。



**DXはどこまでがベスト？毎年更新・保育園の補助金システムを一緒に考えたい！
（保育・幼児教育課×株式会社キッズコネクト）**

現在紙や電子データで行われている補助金などの申請から請求までをクラウドシステムで行うことで、保育業務の負担軽減の検証を行いました。



**みんなが集まる！「障害者就労継続支援」の理想のカタチをホンキでつくりたい！
（障害福祉課×ZeroToInfinity株式会社）**

就労継続支援事業所における利用者工賃（賃金）の向上に向け、作業受注を希望する就労継続支援事業所と作業発注を希望する企業等がWEBサイト上で効率的にマッチングするための要件について検証を行いました。



**行政がTikTok？脱・行政的啓発！広告宣伝のプロたちとSNS運用はじめたい！
（人権推進課×瀬戸内サニー株式会社）**

岡山県下の教育機関と連携し、TikTokを使って若者向けの人権啓発の効果検証を行いました。



**問い合わせ件数日本一？！
農用地のデジタル管理を進めたい！
（農林水産課×サグリ株式会社）**

農用地に関する問い合わせ対応時間の短縮方法や、市民への農用地情報の効果的な情報提供方法について検証を行いました。